



放送大学東京足立学習センター機関誌

葦立

あしだち

【発行日】2021年3月31日



【発行】放送大学東京足立学習センター

〒120-0034 東京都足立区千住5-13-5

学びピア21 (6階)

TEL.03 (5244) 2760 FAX.03 (5244) 2762

【編集】葦立編集室



荒川(千住5丁目付近)

Contents

● 退任の挨拶	2P
● 退任の挨拶	3P
● 教務スケジュール	4P
● 通信指導について	5P
● 2021年度第1学期単位認定試験について	5P
● 事務室からのお知らせ	6P

退任の挨拶

放送大学東京足立学習センター客員教授

石川 潤



2012年に東京電機大学が北千住に移転したことをご縁に、2014年から放送大学東京足立学習センターで面接授業を担当させていただくことになり、その後、2016年から客員教授を務めさせていただきました。私の専門はロボット工学なのですが、あまり工学系の科目が多くない面接授業のなかで、学生の皆さんにどのくらい興味を持っていただけるのか、とても緊張しながらのスタートであったことを記憶しております。それでも、地の利を生かして履修生の皆さんに本学に実際に来ていただいて実験をしていただいたり、研究室のデモ実験を見学していただいたりすることで、ロボット工学の楽しさを実感していただける授業をできたのではないかと考えております。その後、客員教授に就任してからは、面接授業以外に自主ゼミ(公開講座)も担当させていただくようになり、ロボット工学を含む、より広いメカトロニクスという分野が、身の回りでどのように役立っているのかをお話させていただくようになりました。ドローン、自動運転、AIなどについて事例を紹介したわけですが、受講生の皆さんからたくさんの質問を頂き、私自身も、とても良い勉強になりました。この間の皆さんとの交流を通して実感したのが、放送大学に通う皆さんの学びに対する意識の高さでした。わからないところがあれば、その場で質問して徹底的に理解するという貪欲なまでの学びの姿勢は、なかなか本学の学生さんからは感じたことがないものでした。

任期最後の1年は予想もしなかったコロナ禍に見舞われ、授業もオンライン中心となったわけですが、オンラインでの場所を選ばない便利さなどもあったものの、そうしてみると、やはり対面で行っていた授業ならではの良さを感じました。どんなにオンラインの技術が進化しても、それでは実感できない、お互いに顔を見合わせてこそはじめて伝わるものがあるのだと気づきました。いずれコロナ禍も収束します。そのときは、また機会があれば面接授業などで皆さんにお会いして、工学という学問分野の楽しさを伝えていければと思っています。

最後に、あらためて履修生の皆さん、そしてその学びを支えていただいた東京足立学習センターの皆さんに感謝の意を述べて、客員教授退任のご挨拶とさせていただきます。

放送大学東京足立学習センター客員教授

鈴木 真



東京足立学習センターの客員教授にお声がけいただいたのは5年前のことでした。勤務先の本部が北千住にあるご縁からかと思えます。テレビで講義を受ける大学であることは認識していましたが、面接授業を行っていることは寡聞にして存じませんでした。実際の面接授業の教室に入ると、まさに「多様性」を絵に描いたような幅広い皆さんが受講しており、その真摯な学習態度に感銘を受けるとともに、教員としての力量を試されているようで、とても緊張しました。受講された皆さんに十分ご満足いただけたかどうか、振り返ると思い残す点もありますが、得難い時間を過ごさせていただいたことに感謝しております。

任期中でセンターでのPC教室が整備されたことを背景に、情報系の面接授業についてご相談を受けました。既に放送大学のカリキュラムには情報リテラシーなどの基礎的な科目が十分にありましたが、せっかくの面接授業ですので楽しみながらプログラミングを学べる機会を作れたらとの思いで、グラフィックスプログラミングの授業を立ち上げました。Processingという、教育やメディアアート向けに図形や画像を簡単に扱えるプログラミング環境を採用して、画面に線や丸を描いたり、色を付けたり動かしったりといった演習を行って使い方を学び、最後には自分の考えた動作内容のプログラムを作ってプレゼンテーションしてもらいました。

限られた時間の中ではありましたが、受講された皆さんのアイデアは毎回新鮮で、こちらのほうが楽しませていただけておりました。何人かの方から面白かったので今後も続けたい、との声をいただけたのは嬉しかったですが、自分の思いが先行してしまい放送大学全体のカリキュラムにおける位置づけが不十分で、継続して学んでいただける機会を作れなかったことは反省点です。

さて、この5年間、テクノロジーについても、国内・国際社会についても大きなことがたくさんありました。放送大学の授業を伝えるテレビチャンネルは終了しインターネットに移行するなど、情報メディアのあり方は変わっていきます。また新型コロナウイルスの感染予防対策としてリモートワークの普及が進むなど、ライフスタイルも変化を余儀なくされています。私たちが思っている「普通」とか「常識」とかは今後も大きく変わり、学びたい事柄が尽きることは無いでしょう。社会状況はまだまだ厳しいですが、学生の皆様には是非、どんな時も、どんな所でも、好奇心や知識欲を持ち続けていただきたいと思います。願ってやみません。

最後になりましたが、前センター所長の柴真理子先生、現センター所長の猪崎弥生先生、またスタッフの皆様には大変お世話になりました。心より感謝申し上げます。

退任の挨拶

放送大学東京足立学習センター客員教授

内藤 俊史



東京足立学習センターに客員教員として着任したのは、2016年の4月でした。3月まで33年間勤めていたお茶の水女子大学を定年退職し、私にとって新しい生活の始まりでした。入学式の日、北千住の駅を降り、わざわざ細い路地を歩き回り、センターにたどりつきました。

実は、通信制の大学に関わるのは初めてではありませんでした。40年ほど前、慶応大学の通信教育部のお手伝いをする機会がありました。夏のスクーリングの授業担当が主な仕事でしたが、試験監督のために松山まで飛行機で出かけたこともありました。

センターで学生の方々と接しているうちに、40年前の感覚がよみがえってきました。それは、学生の方々の多様性、それぞれの方々がもつ背景の多様性です。実際、入学式の壇上からは、威圧感さえ感じられる落ち着いた年配男性が目にとまりましたが、その近くには、民族衣装を着た女性の姿も目に入りました。入学式後の懇親会では、「子育てが終わり、もう一度振り返ってみたい」といった言葉を聞いただけで、何となく重みを感じました。この多様性と重みは、それぞれの年齢の人たちが、自分の年齢が課す問題に向かうなかで、放送大学を選んでいるからなのではないかとあらためて思いました。そして、年齢の違いや生き方の違いは多様性となって、私には時として重みにもなり、また時には充実した楽しさを与えてくれました。

40年前と明らかに変わったこともありました。それは、「通信」です。40年前、授業の多くは、テキストを読んでレポートを郵送し、コメントを受けとり、最後に会場での試験を受けるというものでした。センターに着任した時は、すでにテレビ・ラジオを用いた多くの授業があり、かつての通信教育の授業のイメージとは全く別のものになっていました。しかし、私がセンターに勤めていた5年の間でも大きな変化がありました。オンライン授業や、zoom等を使った授業が加わりました。それだけではありません。教室で高齢の方にパソコンの初歩的な使い方を説明していたとき、たまたまその方のスマホに電話がかかってきました。私が驚いたのは、その方の手慣れたスマホの操作でした。「通信」の方法は発展し、学び方の選択肢が増えていくことを実感しました。

最後に、東京足立学習センターで出会ったすべてのの方々に感謝します。そして、これからも、センターの開かれた暖かい雰囲気が伝統として続いていくことを心から期待しています。

放送大学東京足立学習センター客員教授

宮本 信也



このたび、放送大学東京足立学習センターの客員教授を退任させていただくこととなりました。私が、客員教授に就任いたしましたのは2018年4月のことですので、ある意味、途中退場という感じで、放送大学の学生さんや教職員のみなさまには大変申し訳ない思いを感じております。現在の本務校で突然に役職に就き、新型コロナウイルス感染対応もありまして、本務校での業務が多忙を極めるようになってしまいました。面接授業等の日程調整でも四苦八苦するようになり、退かせていただくことといたしました。なお、私、現在の本務校の白百合女子大学の前は筑波大学に在職しておりまして、退職前は筑波大学東京キャンパス勤務ということもあり、2年間、放送大学東京文京キャンパスで学生さんへの講義や教職員の方々への講演をさせていただいておりました。その分も含めると、足かけ5年、放送大学とはご縁がありました。ということで、今回の退任にご理解いただけますれば幸いです。

初めて東京足立学習センターにおじゃましたとき、北千住駅からセンターまで歩いて行ったのですが、その通りが趣がありお気に入りとなりました。旧日光街道宿場町通りの名称で呼ばれる由緒ある通りだったと、このとき初めて知りました。江戸時代の名残りを漂わせる建物があったり、いろいろなお店があったりで、東京足立学習センターにうかがうのは授業があるときだけではなく、あちこち眺めながらこの通りを歩くのは楽しい時間でした。

放送大学の面接授業や自主ゼミでは、年配の学生さんが大変熱心に受講されておられたのが印象的でした。授業の最後の質疑応答の時間でも、たくさんのご質問をいただき、本務校との違いを感じさせられたこともありました。レポートでも率直なご意見をいただき、レポートが、学生さんの成績評価だけでなく、自分の講義のどこがうまく伝わらなかったのかを振り返るよい手段とさえなっていました。放送大学で授業をさせていただきました経験は、本務校での教育にも役立つものになったと感じております。

短期間、しかも、コロナウイルス騒動もありました中、授業に関するご連絡やご教示をいただきましたセンターのみなさまに心より感謝申し上げます。いろいろありがとうございました。

教務スケジュール(2021年4月~8月)

4月

5月

6月

7月~8月

放送・面接・オンライン授業

4/1(木)

放送授業期間

7/14(水)

7/15(木)



新学期がスタートしました。視聴を逃した教材も、学習センターで視聴できます。授業の予習・復習に学習センターをご利用ください。

集中放送期間
(~9/30(木))

通信指導を締切までに提出し、合格しないと、**単位認定試験が受験できません。**5/6(木)になっても問題冊子が届かない場合は本部サポートセンターへご連絡ください(Web通信指導のみの科目を除く)。

通信指導提出期間

【郵送】5/14(金)~5/28(金) 必着
【WEB】5/7(金)~5/28(金) 17:00まで

単位認定試験期間

【大学院・学部】
7/13(水)~20(水) 自宅受験
大学本部への郵送7/20(水) 消印有効

4/5(月)

オンライン授業期間

8/31(火)

面接授業追加登録期間

○空席発表日: 4/16(金)12:00~(予定)
○追加登録期間: 4/22(木)~ 科目毎に定められた追加登録受付期限日まで
※手続きについての詳細は、「2021年度第1学期面接授業追加登録のご案内」を必ず確認してください。
※新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、日程や受講方法が変わることがあります。

★オンライン授業は、学習スケジュールや課題内容、卒業要件上の単位区分が科目によって異なります。各科目のシラバス及びシステムWAKABAや各科目のページに掲載されるお知らせにはよく注意して学習を進めてください!

4/16(金)

面接授業開講期間

8/1(月)

(教養学部)卒業研究

2021年度
卒業研究
履修者

4月上旬
卒業研究履修
許可通知

卒業研究履修 ※研究報告書の提出期限は11月上旬を予定

2022年度
卒業研究
履修者

ご注意ください!

卒業研究は履修しなくても卒業要件を満たせば自動的に卒業となります。
2022年度の卒業研究履修希望者は、単位修得を計画的に行ってください。

6/月上旬~ 「2022年度卒業研究の手引き」
及び申請書 配布開始



★6月13日(日)卒業研究ガイダンス
履修を計画の方はぜひご参加ください。

学生募集

(夏季集中)
司書教諭
科目

4/1(木)~
2021年度
募集要項配布開始

出題及び科目登録受付期間
【郵送】5/1(土)~6/7(月)

7/20(火)~8/4(水)
放送授業期間

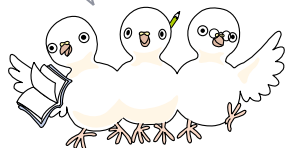
(教養学部/
大学院修士
科目・選科生)
10月入学
希望者

10月入学の学生募集が始まります。
皆様のご家族・ご友人に放送大学を
ご紹介ください♪

◆2021年度第2学期(10月入学)募集要項配布
及び出願受付【教養学部及び修士選科生・科目生】
第1回募集 6月10日(木)~8月31日(火)
第2回募集 9月1日(水)~9月14日(火)

※郵送の場合の出願は大学本部締切必着。
インターネットでの出願は締切日の17時(予定)まで受付。

(大学院)
修士・博士
全科生
2022年度
入学希望者



◆2022年度(4月入学)募集要項

配布開始: 6月10日(木)~
出願受付期間: 8月14日(土)~8月26日(木)

※郵送の場合の出願は大学本部締切必着。
インターネットでの出願は締切日の17時(予定)まで受付。

※教務スケジュールや申請手続き等の詳細は「学生生活の葉2021年度」を参照してください。

通信指導について

通信指導とは？

放送授業と一部のオンライン授業科目について、授業の一部として各学期の途中に1回一定の範囲で出題され、その答案を提出して担当教員の添削指導を受けることです。

通信指導の結果により、単位認定試験の受験資格を得ることができます。

未提出あるいは期限までに提出しなかった場合は、評価対象とはなりませんのでご注意ください。

問題は原則、印刷教材(テキスト)と同時に送付されます。内容は、前半の一定の範囲で出題されます。

提出期間

【郵送】5月14日(金)～5月28日(金) 《大学本部必着》

【Web通信指導】5月7日(金) 10:00～5月28日(金) 17:00

(提出期限を過ぎると受理されませんので余裕を持って提出してください。)

添削結果 返送時期

2021年6月末～7月上旬

《添削結果が以下の未着期限までに届かない場合は、大学本部にお問い合わせください。》

① 択一式科目(併用式科目の択一部分)…… 7月7日(水)

② 記述式科目(併用式科目の記述部分)…… 7月13日(火)

2021年度第1学期単位認定試験は 自宅受験方式にて実施します

● 単位認定試験期間・答案提出期限

2021年7月13日(火)～20日(火) 《消印有効》



● 試験の流れ

受験票・解答用紙・返送用封筒・受験方法詳細の案内を受け取り

6月下旬に放送大学本部より発送予定です。未着の場合は、放送大学本部へお問合せください。

試験問題を入手

試験問題の
入手方法

① 放送大学ホームページ <https://www.ouj.ac.jp/> のリンクから

(URLは後日案内します。期間中は何度でも閲覧可能。印刷も可能です。)

※試験問題公開ページへのアクセスには「ユーザー名(ID)」と「パスワード」が必要です。

「ユーザー名(ID)」と「パスワード」は6月下旬から7月上旬に通知します。

② コンビニのプリントサービス(有料)で印刷

(セブンイレブン「ネットプリント」、ファミリーマート・ローソン・ポプラは「ネットワークプリント」)

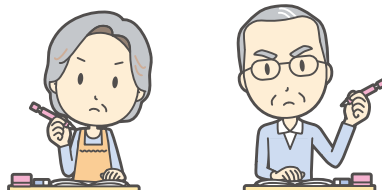
※各コンビニエンスストアでの利用方法や印刷に必要な予約番号等については6月末発送の解答用紙郵送時に同封すると共に、システムWAKABA上にて公開いたします。

自宅等で答案を作成

郵便で提出

7月20日(火) ※消印有効

成績発表 8月下旬予定



事務室からのお知らせ

● 学生証の交付・更新について

図書室の利用、単位認定試験受験の際には学生証が必要です。学生証は入学日以降に窓口での受け取り、または、郵送での受け取りができます。

※状況により変更することがありますので、当センターHPをご確認ください。

窓口での受け取り

入学許可書または、有効期限切れの学生証をお持ちください。

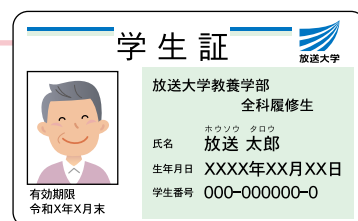
郵送での受け取り

任意様式に氏名、学生番号、電話番号を記入の上、下記(3点)を同封して東京足立学習センター宛に郵送してください。

- 入学許可書のコピーまたは、有効期限切れの学生証
- 身分証明書のコピー(顔写真付きのもの)
- 返信用封筒(宛先を明記の上、244円分の切手を貼付)

学生証には有効期限があり、更新が必要です。有効期限は、学生証の左下(写真下部)に記載されており、有効期限の翌日から更新可能です。

全科履修生	2年間
選科履修生	1年間
科目履修生	半年間



● 学生旅客運賃割引証(学生証)について

旅客運賃の割引制度は、修学上の経済的負担を軽減し、学校教育の振興に寄与するために設けられている制度です。東京足立学習センター事務室で発行いたします。

対象学生 (教養学部)全科履修生 (大学院)修士全科生、博士全科生

学生証の種類 ①【JR・私鉄】一般普通回数券 ②【JR】普通乗車券(片道区間が100kmを超える場合)

(※上記乗車券は、通常料金の2割引きとなります)

窓口で申請	学割証等発行願に記入し、学生証と一緒に提出してください。
郵送で申請	学割証等発行願と学生証のコピー、返信用封筒(宛先を明記の上、84円切手を貼付)を郵送(使用予定日10日前必着)

利用が認められます

- 面接授業の受講、単位認定試験を受験する場合
- 放送教材等の再視聴及び図書室を利用する場合(所属学習センターに限る)
- 大学が主催する学校行事への参加
- オリエンテーション及び学習相談への出席
※確認ができる書類などが必要です。
- 卒業研究や研究指導のため指導教員の指示により移動する場合(場所等について具体的な指示がある場合に限る ※確認ができる書類が必要です。)

利用が認められません

- × 社会体育参加
- × サークル活動
- × 個人的用務
- × 単位互換のための他大学への通学
- × 必要書類の提出がない場合
- × 学割証発行願に不備がある場合
又は利用目的の事実確認が取れない場合
- × 休学中の学生
- × 選科履修生、科目履修生

詳細については学生生活の葉でご確認ください。